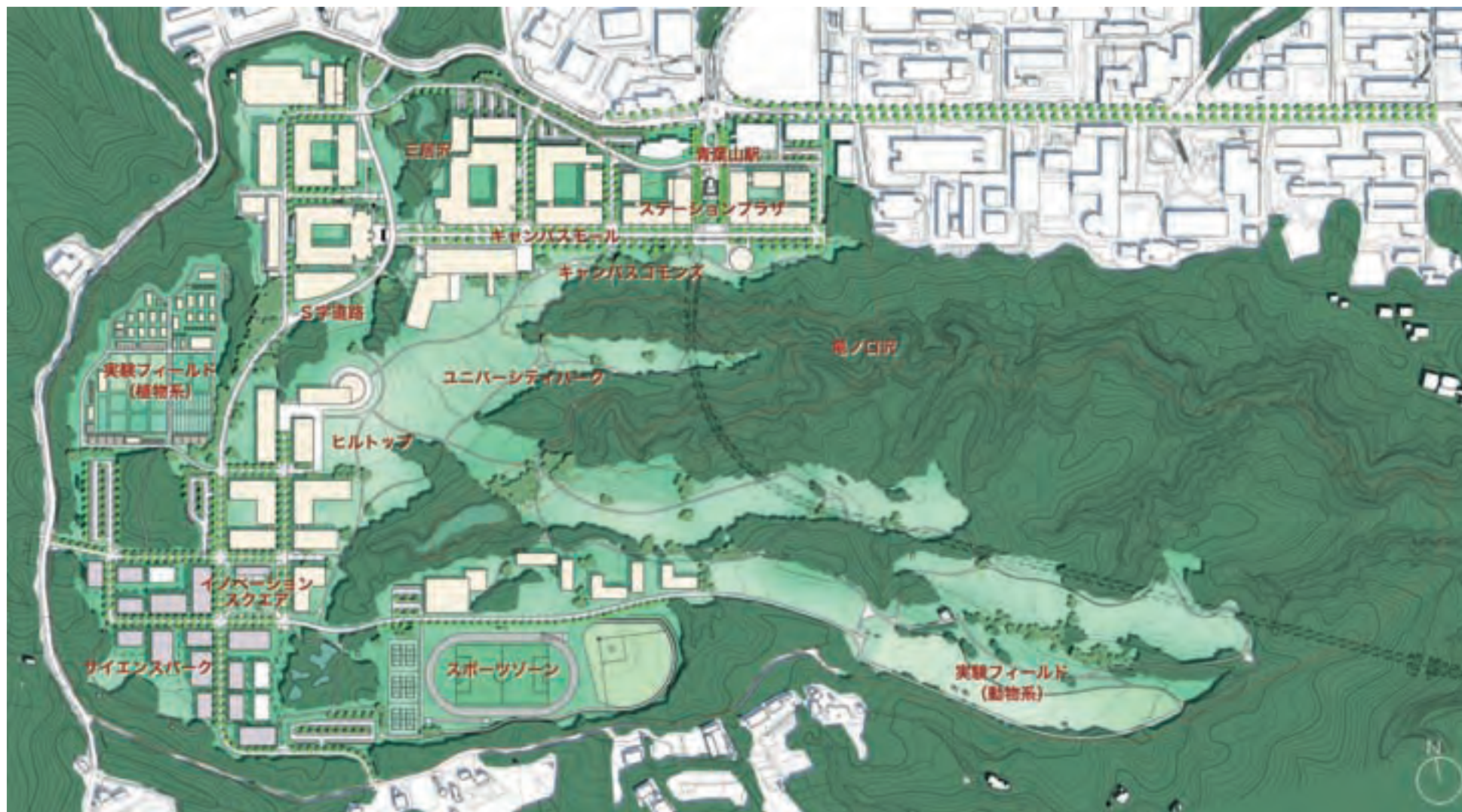


## 豊かな自然と調和した教育研究環境の実現に向けて 新キャンパス整備計画



ここに示す計画図はイメージであり、個別の施設の細部にわたる位置・形態・デザインを確定するものではありません。



### キャンパスモール

新キャンパスのメインの歩行者動線となる緑と賑わいのあふれるキャンパスライフの中心の場。キャンパスモール沿いに配置される研究・教育施設群や図書館・講義室・食堂と一体となったオープンスペースとして整備する。



### ヒルトップ

ユニバーシティパークに面した高台に位置し、キャンパスを一望できる眺望をもつオープンスペース。新キャンパス内の各所から見える重要な場所であり、キャンパス全体のランドマークとなる建物と一体的に計画する。



キャンパスモール鳥瞰イメージ

## 新キャンパス整備計画

東北大学は、新たな学問領域や新技術・新産業を創出し得る教育研究環境の創造とともに、「杜の都・仙台」のシンボルとして市民に親しまれてきた青葉山の豊かな自然環境を活かした「環境調和型キャンパス」の実現を目指している。

現在の進捗状況として、2007年度末には環境アセスメントに関する開発前手続きを終え、2008年度中頃に、仙台市から開発許可を受け、造成工事に着工する予定である。それ以後は段階的に整備を進める計画としている。

また、これと並行して整備対象部局(農学研究科・農学部、電気通信研究所)とヒアリングを行いながら、必要な性能・仕様などの設計条件をまとめ、実施設計を進めることとしている。

### ステーションプラザ

学外からの来訪者が最初にアカデミックな空間と出会う、青葉山キャンパス全体の顔となる空間。地下鉄東西線青葉山駅と一体的なデザインとし、駅を出ると目前にキャンパスコモンズと雄大なユニバーシティパークの景観が広がる。プラザに面して商業施設や全学共有施設を配置し、賑わいの場として整備する。



### イノベーションスクエア

サイエンスパークの中央研究棟に面した、学生・教職員との産学交流の場として整備するオープンスペース。イノベーションスクエア内にはカフェテリアを設け、屋外空間と一体的に利用することで、豊かな自然環境を享受できる休憩スペースやミーティングスペースとして活用する。



## Topics

### 青葉山新キャンパスに青葉通のケヤキを移植

本学と「御膳代町まちづくり実行会」、「サンモール一番町商店街振興組合」による「青葉山新キャンパスにケヤキ移植を進める実行委員会」が、9本のケヤキを青葉通から移植し、2008年4月3日に披露式を行った。同エリアは新キャンパス開校とともに一般開放を予定している。

